

下ろした屋根雪処理、車庫・納屋も助成対象に。親族要件は廃止 上越市、今冬から要援護世帯除雪費助成制度を見直し

上越市はこのほど、要援護世帯の除雪費助成制度を今冬から見直すことを明らかにしました。

市が議会に配布した資料によると、見直しすることにしたのは「対象となる世帯」と「対象となる除雪の範囲」です。

「対象となる世帯」については、これまで、親族（おおむね徒歩30分圏内に居住する2親等以内の親族）や近隣の住民などの協力により除雪ができると認められる世帯については、原則として、事業の助成対象から外されてきました。しかし、今冬からはこの親族要件は廃止され、こうした人も含めて申請できることになりました。

もうひとつ、「対象となる除雪の範囲」も拡大されました。これまでは、屋根雪及び玄関前の必要最小限の範囲を助成対象としてきました。今冬からは、これらに加えて、下ろした屋根雪の処理や日常生活上欠くことのできない場所、例えば納屋とか車庫などの除雪も助成対象範囲に入りました。

市の要援護世帯除雪費助成制度については、これまで関係地域の住民から強く改善要望が出されていて、市議会では日本共産党議員団を含め、何人もの議員から改善を求める声が上がっていました。なお、除雪費の助成限度額はこれまでと変わらず、多雪区域はひと冬6万5600円、その他地域は4万1000円です。

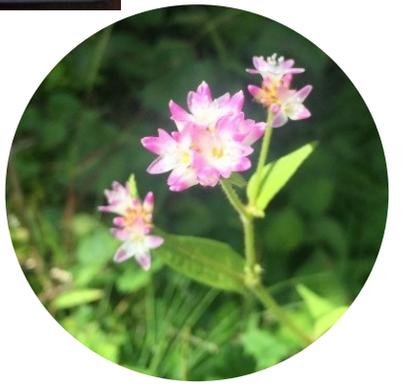
12月議会からの試行を前にタブレット講習会開催

市議会のタブレット講習会が13日、開かれました。12月議会からの試行を前に早く憶えてもらおうと、東京の会社からタブレットの会社メンバ―がやってきて、説明しました。

この日はタブレットでの写真撮影など基本操作を中心にしながら、9月議会資料を使って、資料中における検索、資料への書き込



み、写真添付などを学びました。じつは、私はタブレットが届いてから一度も開いていませんでした。ちんぷんかんぷんだらうなと思っていましたが、普段使っているスマホの感覚で使えることがわかりホッと思いました。2、3回会議をやれば慣れるでしょう。



【ミソソバ】タデ科の1年草。漢字で「溝蕎麦」と書きます。葉は牛のひたいに、花は金平糖に似ています。花言葉は「純情」だそうです。いま、湿気のあるところ、あちこちに咲いています。

吉川中央保育園 園舎解体工事ほぼ終了



吉川区天林寺地内にある吉川中央保育園の解体工事ほぼ完了しました。今春の吉



はしづめ法一の活動レポート

No.1829 2017.10.22
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見てある記」はこちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第四七七回

物々交換

♪くもりガラスを 手で拭いて あなた明日が 見えますか——軽トラックから流れる曲は「さざんかの宿」。竹平俱樂部を過ぎたあたりから聞こえてきて、イナバ（屋号）の曲がり角あたりで大きくなる。先日、長野の新井さんというリンゴ屋さんがリンゴなどを売りに来る話を母の実家で聞き、リンゴ屋さんが車で道を上つてくる様子を勝手に想像しました。そして、なぜか懐かしくなりました。

私の記憶にはリンゴ屋さんのことはほとんど残っていません。私が子どもだったころは、リンゴやミカンを買うことはまずありませんでした。それだけ貧しかったのだと思います。口にすることができたのは誰かが土産などでくれたときくらいです。ミカンは庵主さんがお経を読みに来られるときにわが家に持ってきてくださいました。そのときだけです、ミカンを食べることができたのは。だから、庵主さんが来られるとき、私は遊びに行かないで庵主さんを待っていたものです。

トラックでやってくるリンゴ屋さんがわがわが家にやってくるようになったのは、三十数年前、吉川区尾神の蛸場から代石に移住して以降のことだったと思います。ただ、流行歌は流していませんでした。

当時、リンゴは箱買いが主流でした。リンゴはひと箱に一八^キから二〇^キくらい入っていました。わが家ではそれを越冬用にといいことで二、三箱買っていました。私も一時期、活動資金をつくるために長野県の須坂市まで二トントラックでリンゴを仕入れに行ったことがありました。いまでは考えられないかも知れませんが、当時は、軽トラックでは間に合わないほど売れたのです。

蛸場に住んでいた当時、スピーカーで流

行歌を流しながらやってきたトラックはリンゴ屋さんではなく、農協の移動販売車でした。家にいたときだけでなく、家の前の山に行ってもよく聞こえました。スピーカーから歌が流れてくると、「農協が来たな」と思ったものです。ただ、どんな曲を流していたかは残念ながら思い出せません。トラックはヒガシ（屋号）の下にとまり、そこへ蛸場の人たちが行って買い物をしたものです。

従兄弟夫婦からリンゴ屋さんの話を聞いていて強い関心を持ったのは、物々交換のことです。竹平では、ふた昔くらい前まで新井さんが持つて来るリンゴやブドウなどは金で買うのではなく、コメで買う人が多かったといえます。コメをザルに入れて持つていき、リンゴなどと交換してもらった時期があったというのです。

物々交換については、正直言って、私にはかすかな記憶しかありませんでした。わが家では何と何を交換したかなど知りたいたい、母にも訊いてみました。その結果、私が住んでいた蛸場でも、海岸部から海藻などを持つて行商にやってくる人との間で、コメや小豆と交換していた時期があったことを確認することができました。

行商と言えば、わが家にほぼ定期的にやってきたのは浦川原のMさん、この人はお茶屋さんでした。それと柿崎のMさん、この人は魚やつくだ煮など食料品が中心だったと記憶しています。あと、原之町からOさんが来ておられました。これらの人はバイクまたは歩きでしたから、物々交換はまずなかったと思います。

物々交換はちゃんとした信頼関係がなければ成り立たないものです。物と物を交換する商いがいまからそう遠くない時期まであったというのはうれしいですね。

文化の秋、市展などを楽しむ

10月、11月は文化、芸術の月です。先日、高田へと車を走らせた。高田の花ロードを観るためです。時間がちょっとしかないなか

では知り合いの人の作品を観るのが精いっぱいです。元内山金物店の屋上ではガーデンピリアやキバナアキギリなどを花ガーデンを楽しみました。内山秀二さんの解説

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16 μ Sv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	10月11日(水)	10月17日(火)
上越南消防署	0.043	0.047
上越北消防署	0.043	0.043
新井消防署	0.050	0.047
頸北消防署	0.047	0.050
頸南消防署	0.053	0.050
東頸消防署	0.043	0.047
高士分遣所	0.050	0.043
名立分遣所	0.053	0.057

は楽しかったですよ。歩道で似顔絵を描いている人もおられました。

ミュゼ雪小町では市展をやっていたので、ココも覗いてみました。自動ドアを開けた瞬間、目に入ったのは吉川区在住の細井一貞さんの作品でした。見事としかいいようのない作品です。中に入ってから、牧区の瘦辺靖子さんが描いた作品(右上の絵)が気に入りました。子どもたちがのびのびと遊んでいる様子が素敵でした。

花ロードへ行った翌日、今度は柏崎市展を観てきまし



た。柏崎市の市展を観るのは初めてです。びっくりしたのは市外の人々の作品がいくつもあったことです。上の下の方の絵は上越市吉川区の瘦辺幸雄さんの作品です。大湊区の公園を描いたとか。この作品は奨励賞に入っていました。